

# フレキシブルメタルホース 取扱い説明書

1 本説明書は、「フレキシブルメタルホース」の運搬、据付及び保守等に関する一般的な注意事項を示すものとします。

■お守りいただく内容を絵記号で、区分して説明しています。

	警告	人が死亡または重症を負う可能性が、想定される内容です。
	警告	人が障害を負う又は物的損害の発生が、想定される内容です。しかし、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を告げるものです。	
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を告げるものです。	

2 フレキシブルメタルホースの主要部分は、薄肉のステンレス製のチューブと、それを包むステンレス製のブレードで構成されています。これらが損傷、腐食すると、フレキシブルメタルホースの耐圧力が低下することになります。従って、据付中に起き易く、かつ、フレキシブルメタルホースの品質を低下される恐れがある下記事項等の防止について、十分な注意を払わなければなりません。

- 1) 衝撃、落下
- 2) 過度(設計計画値以上)のたわみ
- 3) 付近における溶接、切断等の作業
- 4) 海塩、砂、鉄粉の侵入

3 運搬 運搬時に際しては、次の事項を守って下さい。

- 1) 出来る限り、水平の状態にて運搬する。
- 2) 引き摺り、落下、激突をさける。
- 3) 吊り下げる時、吊りワイヤーが本体に直接、接触しないように、布ベルトを用いる。

4 保管 保管は、次に示す条件で行って下さい。

- 1) 通風が良好な場所で、棚、又は平板の上。
- 2) やむをえず、箱より出したものは、ポリエチレンシートにて全体を包む。
- 3) 付近で、溶接、ガウジング、ガス切断等の損傷の恐れがある作業を行わない場所。
- 4) 銅及び銅合金製の製品と接しない場所。

5 据付 据付に関しては、次の点を注意して下さい。

- 1) 銘板又は荷札にて表示した機器番号やサイズで、取付場所を確認する。
- 2) 納入仕様図による、取合形状や寸法との照合をする。
- 3) 設計値以上のたわみ、変位、伸縮させて取り付けることや、ねじりを生じさせて取り付けることの無い様にする。

6 据付後 設置済みのフレキシブルメタルホースが損傷、劣化しない様に、下記を実施して下さい。

- 1) 防水布等で覆い、鉄粉、砂、ホコリ、水等の付着を防ぐ。
- 2) 下記事項を禁止する注意札をかける。
  - A. 付近、上方での溶接、溶断。
  - B. 重量物を上に置くこと。
  - C. 衝撃を与える作業。
- 3) やむをえず上方における溶接、溶断の場合は、必ず不燃性の布等で覆ってからにする。

7 配管システムの耐圧試験の検査

- 試験中及び試験直後に、次の異状がないかを点検して下さい。
  - 1) ブレードのしわ等の異状変形
  - 2) 漏洩
  - 3) その他の異状

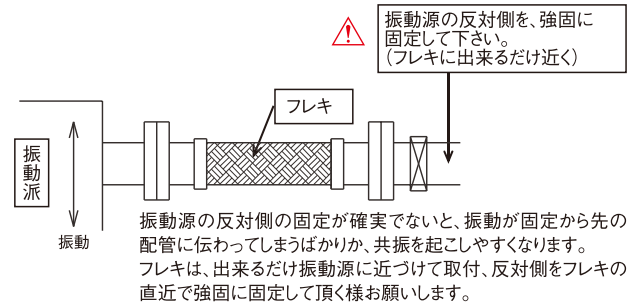
8 配管システムの試運転中の点検

- 試運転中は、次の項目について、使用上、支障が無いかを評価して下さい。
  - 1) 振動
  - 2) 変位置
  - 3) 発錆
  - 4) 異状変形

9 使用期間中の定期検査

- 使用期間中の定期検査については、次の事項の点検を行って下さい。検査の頻度は、運転中の外部環境あるいは、内部流体の条件を考慮して定め、又、必要に応じ清掃、事前の新替を行い、破損事故を防止する様にして下さい。
  - 1) 外面の発錆、腐食状態
  - 2) 内面の腐食状態(フレキを取り外して確認のこと。)
  - 3) 外傷、異状変形
  - 4) 漏洩の痕跡

10 振動吸収用に使用するフレキについて



11 受水槽等に使用するフレキについて

- バルブ開閉時に、ウォーターハンマーやバイブレーションを生じ、破損する恐れがあるので、チャッキバルブとの併用を、推奨します。

12 主弁配管に使用するフレキについて

- フレキを、主弁配管の1次側に使用されますと、給水圧力の変動等により、破損する恐れがありますので、フレキは主弁配管の2次側に使用して下さい。

# フレキシブルメタルホースの取扱い説明図

<p>チューブは出来るだけまっすぐ取付ける。</p>	
<p>チューブをねじらない。(チューブが許容できる変形は同一平面の曲げのみと、お考え下さい。)</p>	
<p>チューブを小さく曲げない。</p>	<p>接続金具の付け根は、変形が集中しますので、ガイドの使用が効果的です。</p>
<p>チューブを引き伸ばさない。(自由長より引き伸ばすと、耐圧性が低下します。)</p>	<p>ホースの長さ と 配管方法に、配慮が必要です。</p>
<p>腐食性異物を遠ざける。</p>	<p>ステンレス鋼は耐食性に優れた材料ですが、塩分の付着は腐食の原因となり易いので、御注意下さい。</p>